

成人看護学実習

[実習] 第4学年 前期 必修 4単位

《履修上の留意事項》成人看護学実習は、成人看護学実習（4単位）と成人看護学実習（4単位）により構成される。成人看護学実習を履修した上で実習を履修することを原則とする。

《担当者名》 神田直樹 kanda@hoku-iryu-u.ac.jp 唐津ふさ 熊谷歌織 高木由希 伊藤加奈子 高橋啓太 前川真湖

【概要】

実践的な実習体験のために、看護チームの一員として複数の患者を受け持ち、看護の役割機能ならびにチーム医療について実践的に学ぶ。

【学修目標】

- 複数の対象者それぞれのニーズに応じた、個別性、優先性を考慮した看護援助を実施できる。
- 看護の調整的役割について理解し実施できる。
- チーム医療における看護師の役割を理解できる。
- 専門職業人としての自己の課題を明らかにできる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
第1週	受け持ち患者の理解	1. 受け持ち患者を概略的に把握する 2. 看護チームが立案した計画をもとに、ケアを実施・評価する	神田・唐津・熊谷・高木・伊藤・高橋・前川
第2週	看護チームの一員としての看護実践	1. 個別性・優先性を考慮した看護計画を立案し、それに基づいたケアを提供する 2. 看護チームの一員としてチームカンファレンスに積極的に参加し、チームの機能、メンバーの役割について考察する	神田・唐津・熊谷・高木・伊藤・高橋・前川
第3週	医療チームの理解	1. チームメンバーの一員としての役割を実践的に学ぶ	神田・唐津・熊谷・高木・伊藤・高橋・前川
第4週	継続看護・社会資源の理解 実習のまとめ	1. 看護の継続性の視点から今後のケアへの見通しをもつ 2. 4週間の振り返りを行う事を通して自己の課題を明確にする	神田・唐津・熊谷・高木・伊藤・高橋・前川

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- 実習終了時に以下の資料に基づいて総合的に評価し、単位を認定する。
実習目標達成度（40%）、レポート（30%）、実習記録・その他（30%）
- 学生は自己の体験を客観的に見つめ、自己の課題を明らかにするために、実習目標達成度評価表を用いて自己評価する。
- 実習目標達成度については、実習終了時に評価面接を行い評価する。
- 評価の内容は提出資料に記載し、その返却をもって開示する。

【参考書】

実習内容や学習状況に合わせて提示する。

【学修の準備】

- これまでの履修科目で使用したテキスト・資料等を整理し、復習しておく。また、基本的な看護技術についても復習し、身につけておく。
- これまでに履修したすべての実習を振り返り、実習における自己の学習課題を明確にしておく。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP4,1,2,3

【実習方法】

- 実習期間：4年前期の指定された4週間

1クール目 5月10日～6月4日

2クール目 6月28日～7月21日

2. 実習施設：北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、札幌厚生病院、手稲渓仁会病院

学生は上記の中のいずれかの一施設で実習する。

【実務経験】

神田 直樹(看護師) 唐津 ふさ(看護師) 熊谷 歌織(看護師) 高木 由希(看護師) 伊藤 加奈子(看護師) 高橋 啓太(看護師)
前川 真湖(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

看護師としての実務経験から、看護チームの一員として個別性・優先制を考慮しながら実施する看護援助について助言・指導を行なう。また、看護実践の場においての多職種連携の学びを深められるように助言・指導を行なう。